



農地の自己保全管理と カメムシ防除について

農産物等を作付けしない農地（自己保全管理地）は、定期的に草刈り等を行い、農地として適切に保全管理を行いましょう。

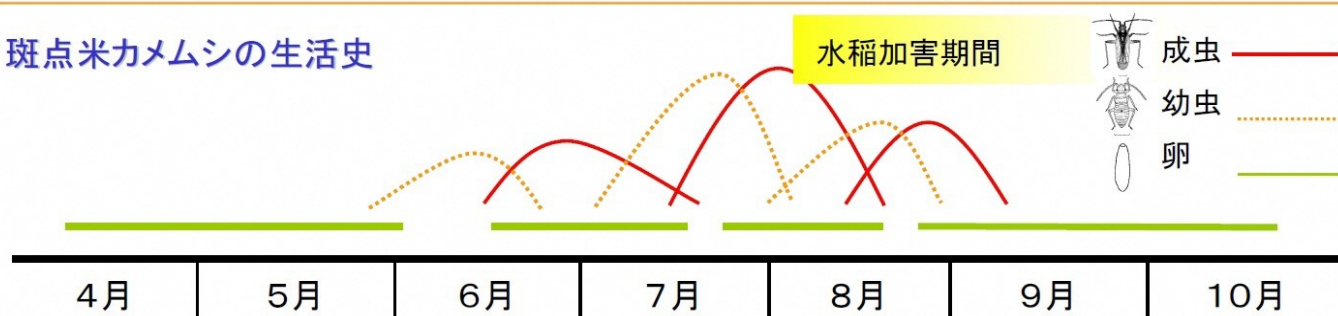
○ 農地の自己保全管理は、いつでも農業が再開できる状態に管理をすることです。保全管理を怠ると、病害虫の発生源や、有害鳥獣の隠れ場、景観の悪化などに繋がりますので、適切な管理に努めましょう。



斑点米カメムシ類の一種
(アカスジカスミカメ、体長5～7mm)

～ カメムシの防除について ～

斑点米カメムシの生活史



斑点米の原因となるカメムシの水田内への侵入を防ぐため、水稻の出穂10日前（遅くとも7月20～25日頃）までに速やかに、畦畔や水田周辺の草刈りを実施しましょう。カメムシ対策として、穂揃い期（8～9割の穂が出た時）一週間後の薬剤防除も必ず行いましょう。

※刈り取りを行った後の草は、適切な方法で処理をしましょう。

風が強い日や空気が乾燥している日に野焼きを行うと、大規模な火災へと繋がる恐れがあります。

また、刈り取った草を用水路等に捨てると、排水口に草が詰まり大雨時に溢れたり、水田に水が行き渡らなくなるなど農作業の遅れ等に繋がります。

八幡平市・八幡平農業改良普及センター
八幡平市農業再生協議会



農作業中の熱中症を 予防しましょう!!

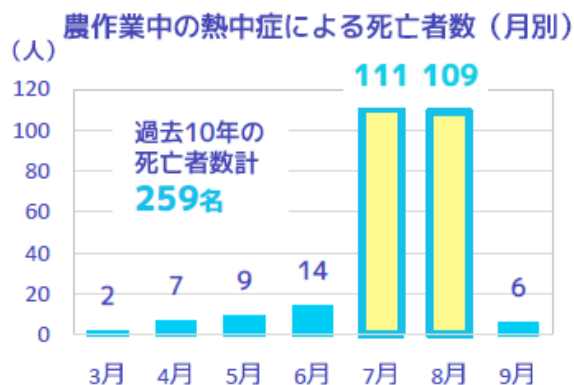
農業者の
みなさまへ

夏に向けて、農作業中に熱中症になる人が増えてきます。

熱中症は正しい知識を身につけることで、適切に予防することが可能です!!

* 農作業中の熱中症 *

- 毎年、約**30名**の方が農作業中の熱中症により**死亡**
- 死亡事故の約**85%**が**7～8月**に発生している一方で3～6月にも発生



* 予防のポイント *

暑さを避ける

高温時の作業は極力避け、日陰や風通しのよい場所で作業



こまめな休憩と水分補給

喉の渇きを感じる前に、こまめに水分・塩分を補給



単独作業は避ける

複数名で作業を行う、時間を決めて連絡をとり合う



熱中症対策アイテムの活用

帽子や吸湿速乾性の衣服の着用、空調服や送風機の活用



そのほか、日々の体調管理など熱中症に負けない体づくりをしておきましょう!

農林水産省

